

現行事業の評価について

事業評価について

1. 本事業は、平成26年の行政事業レビューで、メニューごとに成果目標を設定する等の指摘を受けたことを踏まえ、本事業が一層効果的に実施できるよう、各活動が有効に行われているかを検証する。

具体的には、平成26年度より活動項目ごとに成果指標を設定し、統一的な評価基準により各成果指標の達成状況等について検証することとしている。

【成果指標・目標値】

- (1)国民の生命・財産の保全：不審船、環境異変の通報件数及び海難救助に参加した件数の5%増加
- (2)地球環境保全：対象水域における生物量の5%増加。
- (3)漁村文化の継承：継承者数の5%増加

2. 評価の進め方

- ①対象活動組織が成果指標の達成状況等について、自己評価を実施。
- ②自己評価は、活動項目ごとの成果指標の目標値が達成されているかを確認。
- ③「成果目標」、「組織体制」、「機能発揮活動」及び「横展開」の項目ごとに評価点を算出。
- ④次に、地域協議会が、①で実施した事業評価の内容について、評価(2次評価)
- ⑤水産庁は、④の事業評価について、評価を実施。

3. 評価の活用

事業評価の結果について、成果の達成状況が目標を下回っている活動組織は、その理由及び改善策を地域協議会に提出する一方、地域協議会は、その妥当性を検証し、対象活動組織の取組を改善させるよう指導。

また、地域協議会は、次年度以降の事業採択の基礎資料とする。

自己評価表 (国民の生命・財産の保全にかかる機能発揮活動用)				平成26年度	
道府県名:		市町村名:			
活動組織名:					
活動項目:(別紙の活動項目①~④から選択)	成果指標:(別紙の活動項目に対応した成果指標を記載)				
目標値:件数の5%以上増加					
前年度の実績(件数):	本年度の実績(件数):				
本年度活動した人数(延べ):	左のうちボランティア(*1)の人数(延べ):				
*1 ボランティアの定義:構成員ではないが、活動に参加した人					
項目	評価の視点	配点	点数	ウェイト	項目の評価点 (点数×ウェイト)
成果指標	本年度の実績が前年度より5%以上増加	5点	0.3		
	本年度の実績が前年度より3%以上5%未満増加	4点			
	本年度の実績が前年度より1%以上3%未満増加	3点			
	本年度の実績が前年度より0%以上1%未満増加	2点			
	本年度の実績が前年度を下回った	1点			
組織体制	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数5%以上)	5点	0.2		
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数3%以上5%未満)	4点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数1%以上3%未満)	3点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数0%以上1%未満)	2点			
	構成員に一般市民が参画しているが、実際の活動はしていない	1点			
機能発揮活動	訓練又は監視活動の日数が計画を10%以上、上回った	5点	0.3		
	訓練又は監視活動の日数が計画を5%以上、上回った	4点			
	訓練又は監視活動の日数が計画どおり行われた	3点			
	訓練又は監視活動の日数が、計画を5%以上10%未満、下回った	2点			
	訓練又は監視活動の日数が、計画を10%以下下回った	1点			
横展開	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れ、改善が図られた	5点	0.2		
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れた	4点			
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に取り入れるべく検討を行った	3点			
	講習会や報告会に参加し、他の活動組織の事例の情報収集を行った	2点			
	他の活動組織の事例を参考にしなかった	1点			
評価点(5点満点)					
【成果目標の通報件数、参加件数、または機能発揮活動が計画を下回った理由、次年度に向けた改善策】 成果目標の実績が目標を下回った、または、機能発揮活動が計画を下回った場合は、その理由と次年度へ向けた改善方策を記載して下さい(必須)					

事業評価について

自己評価表 (地球環境保全にかかる機能発揮活動用)					平成26年度
道府県名:		市町村名:			
活動組織名:					
活動項目:(別紙の活動項目⑤~⑩から選択)		成果指標:対象水域における生物量の増加			
目標値:対象生物量の5%以上増加		対象生物:			
本年度当初の対象生物の量:		本年度実績の対象生物の量:			
本年度計画した活動面積(ha):		本年度の活動面積の実績(ha):			
本年度活動した人数(延べ):		左のうちボランティア(*1)の人数(延べ):			
*1 ボランティアの定義:構成員ではないが、活動に参加した人					
項目	評価の視点	配点	点数	ウエイト	項目の評価点 (点数×ウエイト)
成果指標	当初より対象生物が5%以上増加	5点	0.3		
	当初より対象生物が3%以上5%未満増加	4点			
	当初より対象生物が1%以上3%未満増加	3点			
	当初より対象生物が0%以上1%未満増加	2点			
	当初より対象生物が減少した	1点			
組織体制	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数5%以上)	5点	0.2		
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数3%以上5%未満)	4点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数1%以上3%未満)	3点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数0%以上1%未満)	2点			
	構成員に一般市民が参画しているが、実際の活動はしていない	1点			
機能発揮活動	活動面積が計画を10%以上、上回った	5点	0.3		
	活動面積が計画を5%以上10%未満、上回った	4点			
	活動面積は計画どおりであった	3点			
	活動面積が計画を5%以上10%未満、下回った	2点			
	活動面積が計画を10%以上、下回った	1点			
横展開	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れ、改善が図られた	5点	0.2		
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れた	4点			
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に取り入れるべく検討を行った	3点			
	講習会や報告会に参加し、他の活動組織の事例の情報収集を行った	2点			
	他の活動組織の事例を参考にしなかった	1点			
評価点(5点満点)					
【対象生物の増加量が目標を下回った、または、機能発揮活動が計画を下回った理由、次年度に向けた改善策】 成果目標の実績が目標を下回った、または、機能発揮活動が計画を下回った場合は、その理由と次年度へ向けた改善策を記載して下さい(必須)					

自己評価表 (漁村文化の継承にかかる機能発揮活動用)					平成26年度
道府県名:		市町村名:			
活動組織名:					
活動項目:(別紙の活動項目⑮~⑳から選択)		成果指標:継承者数の増加			
目標値:5%以上増加		継承者:対象文化を学び、単独で第3者に対し講習できる者			
本年度当初予定の継承者数:		本年度実績の継承者数:			
本年度活動した人数(延べ):		左のうちボランティア(*1)の人数(延べ):			
*1 ボランティアの定義:構成員ではないが、活動に参加した人					
項目	評価の視点	配点	点数	ウエイト	項目の評価点 (点数×ウエイト)
成果指標	当初より継承者数が5%以上、増加した	5点	0.3		
	当初より継承者数が3%以上5%未満、増加した	4点			
	当初より継承者数が1%以上3%未満、増加した	3点			
	当初より継承者数が0%以上1%未満、増加した	2点			
	当初より継承者数が減少した	1点			
組織体制	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数5%以上)	5点	0.2		
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数3%以上5%未満)	4点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数1%以上3%未満)	3点			
	構成員に一般市民が参画し、実際に活動している(活動人数全体に占める一般市民の人数0%以上1%未満)	2点			
	構成員に一般市民が参画しているが、実際の活動はしていない	1点			
機能発揮活動	活動日数が計画を10%以上、上回った	5点	0.3		
	活動日数が計画を5%以上10%未満、上回った	4点			
	活動日数は計画どおりであった	3点			
	活動日数が計画を5%以上10%未満、下回った	2点			
	活動日数が計画を10%以上、下回った	1点			
横展開	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れ、改善が図られた	5点	0.2		
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的に取り入れた	4点			
	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に取り入れるべく検討を行った	3点			
	講習会や報告会に参加し、他の活動組織の事例の情報収集を行った	2点			
	他の活動組織の事例を参考にしなかった	1点			
評価点(5点満点)					
【成果目標の継承者数の増加が目標を下回った、または、機能発揮活動が計画を下回った理由、次年度に向けた改善策】 成果目標の実績が目標を下回った、または、機能発揮活動が計画を下回った場合は、その理由と次年度へ向けた改善策を記載して下さい(必須)					

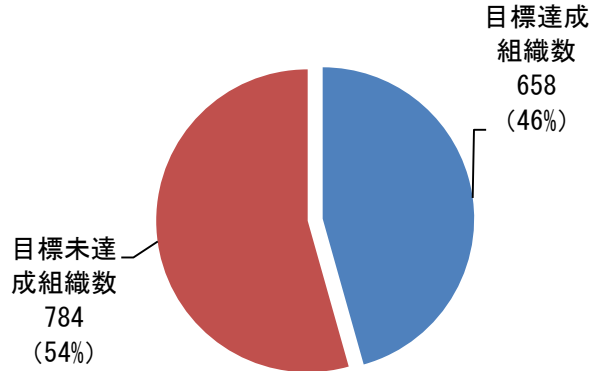
水産多面的機能発揮対策事業の評価について

本事業については、平成26年度から統一的な評価基準に基づき各活動組織が自己評価を行い、その妥当性について地域協議会が判断し、水産庁が最終的な評価を実施することとしている(4月末公表予定)。

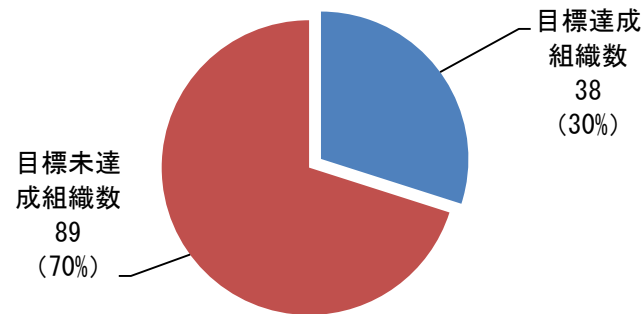
1 目標値(5%の増加)を達成できた活動組織数、できなかった活動組織数

成果目標の設定が平成27年2月となったため、目標を達成している活動組織は約半数に留まっている(年度当初のデータを把握していなかった活動組織は、目標に達していないものとして整理)。

活動組織全体

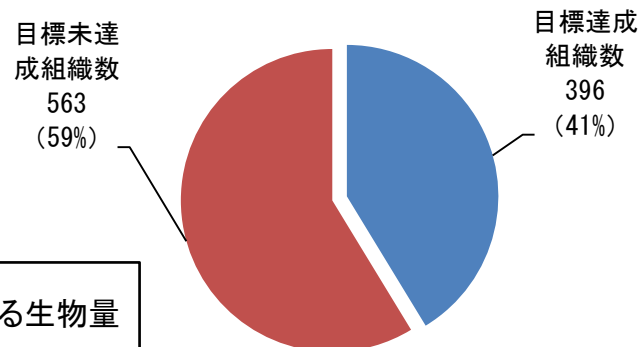


1 国民の生命・財産の保全



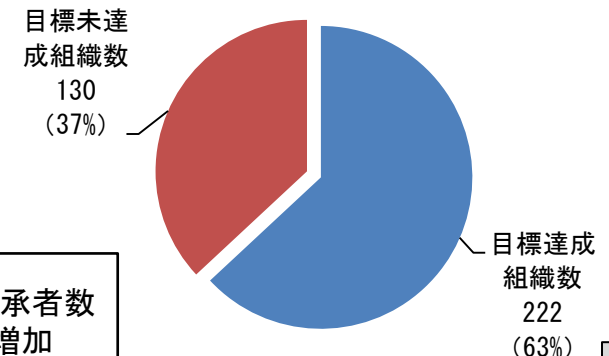
成果指標: 不審船、海域異変の通報件数及び海難救助に参加した件数
目標値: 5%増加

2 地球環境保全



成果指標: 対象水域における生物量
目標値: 5%増加

3 漁村文化の継承



成果指標: 継承者数
目標値: 5%増加

水産多面的機能発揮対策事業の評価について(続き)

活動項目ごとの成果指標の増加量は、気候変動に伴う環境の変化など、活動組織の活動以外の要因により大きな幅がある。

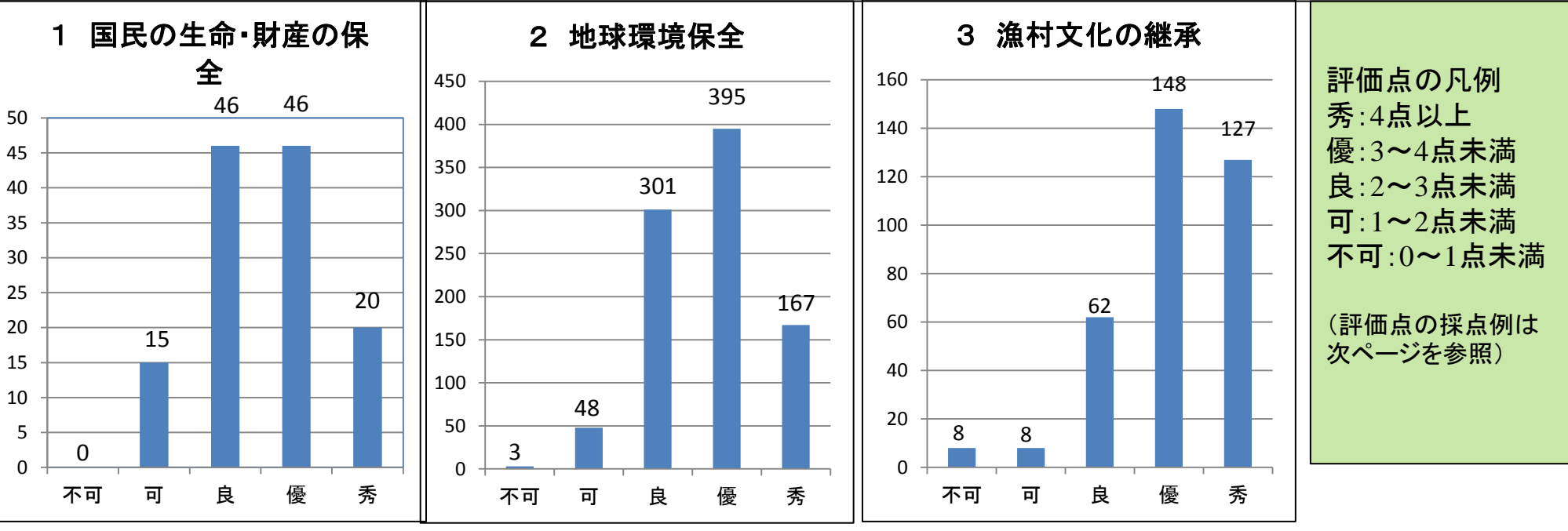
1 活動項目ごとの成果実績

分類	主な活動項目	成果指標	目標値	H26活動組織数	目標達成組織数(達成度%)	平均増加量(増加量の幅)
1 国民の生命財産の保全	国境の警備	不審船の通報件数	5%増加	2	1(50%)	52.5%(5~100%)
	水域の監視	海域異変の通報件数	5%増加	75	13(17%)	10.7%(-17~100%)
	海難救助、災害を防ぎ救援する機能	海難救助に参加した件数	5%増加	51	19(37%)	32.0%(0~137%)
2 地球環境保全	藻場の保全	対象水域における生物量	5%増加	291	153(53%)	27.7%(-38~900%)
	干潟等の保全			217	81(37%)	12.2%(-29~1,138%)
	ヨシ帯の保全			52	17(33%)	38.3%(-16~1,900%)
	サンゴ礁の保全			20	16(80%)	13.3%(0~127%)
	種苗放流			65	23(35%)	7.5%(-98~161%)
	内水面生態系の維持・保全・改善			128	30(23%)	5.0%(-46~2,113%)
	環境にやさしい漁具への転換			0	—	—
	海洋汚染への対応体制整備			5	3(60%)	15.9%(0~46%)
	漂流・漂着物、堆積物処理			186	71(38%)	12.9%(-5~144%)
3 漁村文化の継承	教育と啓発の場の提供	継承者数	5%増加	219	125(57%)	50.9%(-10~2,179%)
	漁村文化・食文化等の伝承機会の提供			148	86(58%)	62.2%(-46~2,500%)

3 活動組織の評価点の水準

各活動組織は、「成果目標」、「組織体制」、「機能発揮活動」及び「横展開」の項目ごとに評価点による自己評価を実施。

その集計結果の分布は以下のとおりであり、概ね3～4点の範囲にピークがある。今後、各活動組織において改善策を講ずること等により、評価点が向上するよう指導を強化する。



その他の効果

1～3の数値的な効果以外にも、多面的機能の発揮に資する活動を実施することを通じて、漁村地域内の漁業者等の団結力が向上するとともに、地域外の人々が活動に関心を持ち、地域コミュニティの形成・維持に寄与し、漁村の地域力の底上げが図られているとの声が多く寄せられている。

【評価点の採点例:地球環境保全にかかる活動用】

項目	評価の視点	配点	点数	ウエイト	項目の評価点 (点数×ウエイト)
成果指標	本年度の実績が前年度より5%増加	5点	5	0.3	1.5
	〃 3%以上5%未満増加	4点			
	〃 1%以上3%未満増加	3点			
	〃 0%以上1%未満増加	2点			
	本年度の実績が前年度を下回った	1点			
組織体制	構成員に一般市民が参画し、実際に活動(活動人数全体の5%以上)	5点	5	0.2	1
	〃 (活動人数全体の3%以上5%未満)	4点			
	〃 (活動人数全体の1%以上3%未満)	3点			
	〃 (活動人数全体の0%以上1%未満)	2点			
	構成員に一般市民が参画しているが、実際の活動はしていない	1点			
機能発揮活動	活動面積が計画を10%以上、上回った	5点	3	0.3	0.9
	〃 5%以上10%未満、上回った	4点			
	活動面積は計画どおり。	3点			
	活動面積が計画を5%以上10%未満、上回った	2点			
	〃 10%以上下回った	1点			
横展開	講習会や報告会の事例を参考に、自らの活動に積極的にとり入れ、改善が図られた	5点	4	0.2	0.8
	〃 自らの活動に積極的に取り入れた	4点			
	〃 自らの活動に取り入れるべく検討を行った	3点			
	講習会や報告会に参加し、他の活動組織の事例の情報収集を行った	2点			
	他の活動組織の事例を参考にしなかった	1点			
			評価点(5点満点)		4.2